

投稿論文執筆要項 (2019年7月14日改定)

1. 原稿は、日本語で書かれた未発表のものに限ります(他の雑誌等に投稿中のものは投稿できません)。
2. 要約とキーワード
 特集論文・自由投稿論文には和文 600 字以内及び英文 150 語以内の要約をつけます。各要約の末尾には、それぞれの言語で 3 語のキーワードを明記して下さい。
3. 提出原稿の書式と分量
 原稿は以下の原則に厳密に従って提出して下さい。
 - (1) 特集論文・自由投稿論文は、①表題、②和文要約、③キーワード、④本文(図表を含む)、⑤注、⑥引用文献、⑦英文表題、⑧英文要約、⑨英語キーワードの順序で構成して下さい。
 - (2) 原稿はA4版の用紙を使用し、横書きにて40字×30行で印字して下さい。表題・注・文献リスト・要約等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字して下さい。
 - (3) 自由投稿論文は、3.(1)の①表題から⑨英語キーワードまですべて含めて、15頁以内でおさめるようにして下さい。図表は刷り上がり4分の1ページ大を400字相当として字数換算すること。
4. 表記法
 - (1) 句読点は、全角の「. 」と全角の「, 」を用います。
 - (2) 英数字は原則として半角文字を使います。
 - (3) 節、小節には半角文字を用いて、それぞれ「1.」「1.1」のように記入下さい。
 - (4) 原則として西暦を用います。元号を使用するときには、「昭和 29 年 (1954 年)」のように記して下さい。
5. 図表・写真
 - (1) 表は上部中央に、「表 1 人口の構成」のように題名を記して下さい。他の文献から引用する場合は、表の下部に「出典：厚生省人口問題研究所『人口統計資料集 1998 年』」のように、引用した文献を示して下さい。
 - (2) 図は図の下部中央に、「図 1 人口の構成」のように題名を記して下さい。引用する場合は、題名の下部に表の場合と同様に「出典」を示して下さい。
6. 注・引用文献
 - (1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号で(1)(2)と記し、本文の最後にまとめて記載します。
 - (2) 引用文献の参照形式及び文献リストのあげ方は、以下に準拠して下さい。
 日本社会学会編集委員会, 2009, 『社会学評論スタイルガイド』日本社会学会.
 URL : <http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php>
 ・ 引用文献は、()でくくって、(著者名 原著発表年: 原著引用頁=邦訳書刊行年: 邦訳書引用頁)の順で記載します。

- ・ 文献リストは、著者名（アルファベット順）、発表年、「論文名」編者名『書名／雑誌名』、出版社名（巻）号：所在頁の順で記載します。
- ・ 和文文献は、書名・雑誌名を『』で、論文名を「」でくくって下さい。欧文書名／雑誌名はイタリック体にして、論文名を“ ”でくくって下さい。

（例示）

① 引用文献は以下のように表示します。

- ・ リースマンは「もし、他人指向的な人間が権力を求めているのだとすれば、何をかれは求めているのだろうか」（Riesman 1950: 240=1964: 223）と述べている。

② 同一著者の同一年の文献については、（黒岡 1981a: 223）のように a, b, c, をつけて下さい。

③ 文献リストは以下のように表示します。

文献

Blumer, H., 1971, "Social Problems as Collective Behavior," *Social Problems*, 18: 298-306.

Klandermans, B., 1992, "The Social Construction of Protest and Multiorganizational Fields," A. Morris and C. M. Mueller eds., *Frontiers in Social Movement Theory*, New Heaven: Yale University Press, 77-103.

黒岡千佳子, 1981a, 「わが国における女性高等教育の発展と女性エリート形成」『教育学研究』48(1): 43-53.

———, 1981b, 「わが国における現代女性エリートの意識と実態」『大阪大学教育社会学・教育計画論研究集録』2: 27-61.

Riesman, D., 1950, *The Lonely Crowd*, New Heaven: Yale University Press. (=1964, 加藤秀俊訳『孤独な群集』みすず書房.)

作田啓一, 1996, 『個人』三省堂.

吉川正之, 1980, 「社会生活への評価と展望」NHK放送世論研究所『80年代と日本人——生活意識と社会像』日本放送出版協会, 31-79.

7. 原稿の提出

(1) 原稿は、ワードプロセッサで電子データとして作成してください。

(2) 提出のさいは電子データをすべてプリンタ等で紙媒体に印字してください。また、それらの電子データを記録した電子媒体（CD-Rやフラッシュメモリ等）を用意してください。印字した原稿1部と電子媒体を編集委員会に提出してください。

8. 校正

執筆者による校正は初校のみとします。初校での校正は、原則として誤字・脱字等、誤植の訂正とし、加筆・修正は認められません。長期不在の場合、編集委員会に事前にご連絡下さい。

9. 原稿の提出先と締め切り

(1) 提出先は、下記の通りです.

〒 980-8576

仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科 社会学研究室

東北社会学会年報編集委員会

締め切りは、12月末日とし、郵送（当日消印有効）のみにて受け付けます.

(2) 掲載原稿及びCD-R等は返却しませんので、必ず控えを取って下さい.